

# 轟 とどろ

平成22年11月26日

11月号

## 九州PTA研究大会で神楽披露



九州PTA熊本大会が2日間開催され、初日の30日(土)グランド熊本の家庭教育部会オープニングで、満席の2,000人の前で子ども・保護会・母親・先生による神楽同時上演を披露しました。想像以上の会場の大きさと参加者の多さで緊張したものの完璧に舞い感動の拍手を受けました。

## 泉第一小みんながハ小到



10月29日(金)に泉第一小の児童と先生方は、バスに乗り合わせて本校・樅木の吊り橋・平家の里を訪れました。ハ小では、歓迎の心を込めて体育館で樅木神楽を披露しました。

## 五家荘の林業のお話

10月27日(水)に仁田尾の杉本山廣さんに「山のお仕事」について話をしてもらいました。五家荘の林業が多岐に亘って世の中に役立っていることや行程を順序よくスライドとビデオを使って分かりやすく説明されました。子ども達も知っているようで知らないことばかりでした。



## 五家荘と塩売り勤兵衛のお話

小川村の塩売り勤兵衛は、怪しげな行動が人々から疑われることとなり、その通報を受けた役人から厳しく問い詰められて、とうとう熊山(五家荘)の落人と物々交換の取引していることを白状してしまったのです。その話を林先生から詳しく教えてもらいました。



## 五家荘の地名の由来

五家荘に樅木・推原・久連子・葉木・仁田尾の五つの地名があります。一体だれが、いつ、どのようにして決めたのか、地名の由来について昨年導入された大型テレビモニターを使って、校長より子ども達に伝えました。



## 市教育委員会の学校訪問



11月5日(金)に八代市教育委員会の学校訪問による指導を受けました。子ども達も先生も日々精一杯取り組んでいる姿を披露しようと頑張ってくれました。

## 校長コラム

今年も素晴らしい紅葉が五家荘の山々で繰り広げられた。夏が記録的な酷暑だったこともあり、大変心配されたのだが期待どおりの色づきで人々の心を和ませてくれた。紅葉祭りの期間を中心に、週末は勿論のこと平日にも全国から大勢の観光客で五家荘は賑わった。交通の利便性に関わらず、ひっきりなしに続く車列を見ながら、山々の紅葉に心を癒している観光客の感性に感服したものである。学校横を通過するバスや乗用車に向かって、子ども達と一緒に「有り難う、気をつけてお帰りください。」という気持ちを込めて手を振ると、バスの中から笑顔で懸命に手を振り返してくれる。何と微笑ましい、何かホッとする場面である。そんな光景を山々の紅葉が演出してくれていた。

## 国見岳親子登山に挑戦

7日(日)に親子で国見岳登山に挑戦しました。今年も千代次さんに案内をお願いしました。最初から大変なより振が続き汗ぐっしょり。途中の紅葉の色づきに感動しつつ、そしてキノコ狩りや椎の実拾いをして、楽しみながらの片道2時間半でした。山頂では、他の登山者と踏破の喜びと達成感を感じて360度のパノラマに全員が感動を覚えました。下山では殆ど全員、膝がへうへうと笑ってしまいました。

